別記第14　ＬＩＮＥの種類及び動作

ＬＩＮＥの種類	動作
ＬＩＮＥ　ＡＢＳ （１の多価オペランド）	現描画点を始点とし、終点を多価オペランドにより絶対座標値で指定する。
ＬＩＮＥ　ＲＥＬ （１の多価オペランド）	現描画点を始点とし、終点を多価オペランドにより始点からの相対座標値で指定する。
ＳＥＴ&ＬＩＮＥ　ＡＢＳ （２の多価オペランド）	始点及び終点は、それぞれ第１及び第２の多価オペランドにより絶対座標値で指定する。
ＳＥＴ&ＬＩＮＥ　ＲＥＬ （２の多価オペランド）	始点は、第１のオペランドにより絶対座標値で指定する。終点は、第２の多価オペランドにより始点からの相対座標値で指定する。

別記第15　ＡＲＣの種類及び動作

ＡＲＣの種類	動作
ＡＲＣ　ＯＵＴＬＩＮＥＤ （２の多価オペランド）	始点は現描画点とし、中間点は第１オペランドにより、終点は第２オペランドにより指定し、現に指定されている色及びラインテクスチャによって円弧又は円を描画する。
ＡＲＣ　ＦＩＬＬＥＤ （２の多価オペランド）　注	ＡＲＣ　ＯＵＴＬＩＮＥＤによる円弧と弦及びその内部の領域からなる領域を、指定されている色及びテクスチャパターンによって塗りつぶす。
ＳＥＴ&ＡＲＣ　ＯＵＴＬＩＮＥＤ （３の多価オペランド）	始点は第１オペランドにより、中間点は第２オペランドにより、終点は第３オペランドにより指定し、現に指定されている色及びラインテクスチャによる円弧又は円を描画する。
ＳＥＴ&ＡＲＣ　ＦＩＬＬＥＤ （３の多価オペランド）　注	ＳＥＴ&ＡＲＣ　ＯＵＴＬＩＮＥＤによる円弧と弦及びその内部からなる領域を指定されている色及びテクスチャパターンで塗りつぶす。

注　円弧及び弦の輪郭は、現行の論理画素の大きさとする。

別記第16　ＲＥＣＴの種類及び動作

ＲＥＣＴの種類	動作
ＲＥＣＴ　ＯＵＴＬＩＮＥＤ （１の多価オペランド）	始点は、現描画点とし、オペランドにより幅と高さを指定し、指定されている色及びラインテクスチャによって四角形の４辺を描画する。
ＲＥＣＴ　ＦＩＬＬＥＤ （１の多価オペランド）　注	ＲＥＣＴ　ＯＵＴＬＩＮＥＤによる四角形及びその内部からなる領域を指定している色及びテクスチャパターンにより塗りつぶす。
ＳＥＴ&ＲＥＣＴ　ＯＵＴＬＩＮＥＤ （２の多価オペランド）	始点は第１のオペランドにより、四角形の幅と高さは第２のオペランドにより指定し、指定されている色及びラインテクスチャによって、四角形の４辺を描画する。
ＳＥＴ&ＲＥＣＴ　ＦＩＬＬＥＤ （２の多価オペランド）　注	ＳＥＴ&ＲＥＣＴ　ＯＵＴＬＩＮＥＤによる四角形及びその内部からなる領域を指定している色及びテクスチャパターンで塗りつぶす。

注　辺の領域は、現行の論理画素の大きさとする。

別記第17　ＰＯＬＹの種類及び動作

ＰＯＬＹの種類	動作
ＰＯＬＹ　ＯＵＴＬＩＮＥＤ	始点は現描画点とし、各頂点の座標は、多価オペランドにより指定し、指定されている色及びラインテクスチャによって、多角形の各辺を描画する。
ＰＯＬＹ　ＦＩＬＬＥＤ　注	ＰＯＬＹ　ＯＵＴＬＩＮＥＤによる多角形及びその内部からなる領域を指定されている色及びテクスチャパターンで塗りつぶす。
ＳＥＴ&ＰＯＬＹ　ＯＵＴＬＩＮＥＤ	始点は第１の多価オペランドにより、各頂点の座標は連続する多価オペランドにより指定し、指定されている色及びラインテクスチャによって、多角形の各辺を描画する。
ＳＥＴ&ＰＯＬＹ　ＦＩＬＬＥＤ　注	ＳＥＴ&ＰＯＬＹ　ＯＵＴＬＩＮＥＤによる多角形及びその内部からなる領域を指定されている色及びテクスチャパターンで塗りつぶす。

注　辺の領域は、現行の論理画素の大きさとする。

別表第二十二号　付加音の符号化

項目	符号化の内容
１　付加音の符号集合	付加音の符号集合は、音高音長符号集合、音強修飾符号集合及び付加音制御符号集合とし、その指示及び呼び出しは、別記第１に示すとおりとする。ただし、Ｃ０制御符号は、別表第二十号の別記第10のＮＵＬのみとする。
２　付加音データユニットデータの構成	データユニットデータは、音番号指定ごとに付加音開始から付加音終了までの符号列を連ねたバイト単位の可変長データとする。ただし、一のページにおいて１つの付加音情報は音番号を省略できる。 付加音開始から付加音終了までの符号列は、メロディ部パート（メロディ部パート開始からパート終了までの符号列をいう。以下同じ。）及びリズム部パート（リズム部パート開始からパート終了までの符号列をいう。以下同じ。）並びに制御部パート（制御部パート開始からパート終了までの符号列をいう。以下同じ。）で構成する。ただし、メロディ部パート又はリズム部パートは、ない場合がある。また、制御部パートは、０又は１とする。 メロディ部パート及びリズム部パートの情報は、パート開始符号、音色パラメタに続いて音高音長符号及び音強修飾符号を順次配列し、音の強さ、繰返し、ジャンプ等を示す制御符号は、制御が必要とされる位置に配置する。 制御部パートの情報はパート開始符号、制御種別パラメタに続けて順次制御情報を配置する。 付加音情報はパート単位に優先順位の高いものから送出する。 １つのページデータの送出に含まれる付加音情報データユニットのパケット数は、基本機能の場合最大200、追加機能の場合最大400とする。